

授業評価 2014 (後期) T1R: 工学部電気電子工学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.74(2015-04-08) by Yas

2014 年度後期 工学部電気電子工学科 授業評価 目次

| 授業コード     | 授業科目名         | 開講時限等                        | 担当教員    | ページ    |
|-----------|---------------|------------------------------|---------|--------|
| T1R002001 | 電磁気学 I および演習  | 1 年後期木曜 1 限 / 1<br>年後期金曜 2 限 | 残間 忠直   | T1R 1  |
| T1R008001 | 回路理論 II および演習 | 2 年後期金曜 4,5 限                | 橋本 研也   | T1R 5  |
| T1R009001 | 応用数学          | 2 年後期火曜 3 限                  | 伊藤 智義   | T1R 6  |
| T1R012001 | 電気電子計測        | 2 年後期水曜 2 限                  | 残間 忠直   | T1R 7  |
| T1R013001 | 電気電子工学実験 I    | 2 年後期火曜 4,5 限                | 近藤 圭一郎  | T1R 9  |
| T1R021001 | 偏微分方程式演習      | 2 年後期金曜 3 限                  | 名取 賢二   | T1R 10 |
| T1R024001 | 電気電子工学実験 III  | 3 年後期木曜 3,4,5 限              | 安 昌俊    | T1R 12 |
| T1R034001 | 伝送工学          | 3 年後期月曜 4 限                  | 八代 健一郎  | T1R 13 |
| T1R037001 | 半導体デバイス       | 3 年後期水曜 2 限                  | 石谷 善博   | T1R 14 |
| T1R041001 | 信号処理          | 3 年後期水曜 3 限                  | 安 昌俊    | T1R 15 |
| T1R054001 | 電気法規及び電気施設管理  | 4 年後期月曜 4 限                  | (岡部 康恒) | T1R 16 |
| T1R055001 | 電波法規          | 4 年後期火曜 5 限                  | (岡崎 邦春) | T1R 17 |
| T1R061001 | プログラミングおよび実習  | 1 年後期月曜 4,5 限                | 下馬場 朋禄他 | T1R 18 |

|         |                                    |
|---------|------------------------------------|
| 授業科目名   | : 電磁気学 I および演習                     |
| 担当教員    | : 残間 忠直                            |
| 年次・開講時限 | : 1 年後期木曜 1 限 / 1 年後期金曜 2 限        |
| 授業コード   | : T1R002001                        |
| 授業アンケート | : 回答者数 83 人 / 受講者数 147 人 (回収率 56%) |

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。(回答 15 件)

改善すべき点は真摯に改善します。

なお、どのように改善したらよいかも記述してくれると助かります。

以下、学生からもらった意見です。

1. 演習報告においてたくさんの方がいるので時間が随分かかっていたこと。(同意見) 演習の報告の効率が悪すぎて何時間も生徒を待たせるのは良くないです。一人でノートの隅々まで見るじかんを考えなかったんですか。頭悪いんですか。何回も自分の都合で先のばしにしていきなり今週までとか人としてどうなんですか。(同意見) 演習問題の報告方法も問題がある。報告する人の列が長すぎて時間内に絶対にその回の報告は全員分終わらない。(同意見) 演習報告に並んで待つのに長い時間がかかるので、制度を変えてほしい。

回答: たくさんの方がいましたね。一回で終わられるように班で十分チェックするように伝えていたのですが、それでも再三注意した箇所に誤りがあり、大変でした。時間がかからないように頑張らしましょう。

一人でノートを見る時間について考えました。大体 2 分で終われば、1 時間もかからずに終わるものと想定していましたが、しかしながら上記のように何度も何度も同じことを口を酸っぱくして言っているのに誤りがあると、なかなか 2 分では終わりませんね。

頭が悪いということですが、学生に負けないように頑張って頭がよくなるように努力します。報告期限について延長することはあっても短縮するような学生に不利になることはしたことはありませんよ。まさかとは思いますが、報告期限までにきちっとやっておらず、期限が発表されたときに慌ててやった、とかではないですよね。人としての指摘がありましたが、まだまだ未熟者なので精進したいと思います。

報告する人の列が長くて絶対に終わらない、とありますが、準備していたらすぐに終わりますし、実際当日直ぐに終わっている人も多くいました。絶対、なんてことはないと思いますよ。頑張らしましょう。

2. 当日に休講の連絡するのはやめた方がいいと思います。(同意見) 休講が急すぎる。休講の発表の遅さ

回答: いつまでの休講の発表だったらよいですか? 休講っていうと学校に来なくなったりするんじゃないかと思い、折角の時間を班で集まって勉強する時間に割いてほしいという善意から発表を遅らせていました。講義がない分好きな勉強が出来て大変嬉しかったのではないのでしょうか。

2. 授業が簡単なことに対してテストと演習の難易度が違いすぎるのはひどいと思います。

回答: そうでしたか、授業の難易度をもっと上げてよい、という指摘を受け、大変嬉しく思います。もっと書くペースを早くして、未だ習っていない式も当然予習しているのだから分かっているだろうという前提で講義することも検討します。改善案を頂きありがとうございます。

3. 報告で昼休みがつぶれて昼御飯が食べれないんですけどそういうとこまで考えて報告を昼休みにしてるんですね? 最低ですね。授業中や報告のときに自分の自己満足のためにわからない人

に対して多大な時間をさくのは周りの人にはかなり迷惑です。やめた方がいいと思います。

回答：報告は昼休みに行います、と伝えてはいますよね。班に所属すればただか2回ですよ。それに、用意周到でしたら10分で終わります。昼食をとるための食堂に行く時間がなければ、私だったらサンドウィッチかおにぎりを買って備えておきますね。昼休みに終わって然るべきのはずなのに終わらない人は後日も行っていますよね。そういう救済も不要ということでしょうか。その当日に報告が未完了だったら即アウトという制度を取り入れた方がよいでしょうか。

それと後半の指摘の自己満足というのは、そんなことはないはずなんですがね。自己満足なら、講義だけして直ぐに自分の部屋に戻って別の仕事に勤めます。

4. 演習班に2年生を入れないでほしい

回答：2年生を入れることでどうも良かったか教えてくれると助かります。時間が合わなかった、とか約束を守らず集まらなかった、とかでしょうか。サボっている学生がいたら遠慮なく私に言ってください。

5. 学生に負担をかけすぎている

回答：演習をやって説明する。これが負担だというなら、演習という名の付くものは凡そ負担になってしまいますよ。

6. 演習の際に指名していたが、やっていない人に対する対応で時間を使い、肝心の演習問題の解説が万全にできていなかったと思う。また、演習報告で導出過程をチェックするのに期末試験ではほぼ答えしか見ないのは目的が何なのかいまいよく分からない。(同意見) 個人的な感情で授業の時間を無駄に使っていることがあった。扱う話題に対して時間配分もあまり適切でない。(同意見) 講義でも演習でも、生徒1人を指名して質問せず、もっと迅速に解説をしてほしい。1つの内容に多く時間をかけすぎて、講義では予定していた所まで授業ができずに終了し、演習では、1人の生徒を指名し、マンツーマン状態になって無駄に時間を消費している。演習であまり解説できないのは教師に原因があると思う。

回答：そうですね。真面目にやっていた人にとっては「なんでこいつはやってきてないんだよ、時間が勿体ないじゃないか」と思っていたかもしれませんが。ただ、真面目にやっていない学生が見つかったら、人として放っておくことができないのが私の性分なのです。その性分を直して不真面目な人を放っておけるような人物になればどれだけ楽かと思えます。演習問題は基本的には自分で解くものです。ただし重要度の高いものは決して説明を割愛していません。

また、演習では導出過程、記述にこだわっています。それをクリアしたという前提でテストでは回答のみとしています。もちろん全て回答のみではなく、一部導出過程と記述問題もテストに盛り込んでいます。

7. ラプラス方程式を学習することがシラバスに記載されていなかった。

回答：確かにありませんでした。済みませんでした。シラバスには明文化されていませんが、講義内容にラプラス方程式があり、そのため、理解を深めるためにラプラス方程式に時間を割きました。ラプラス方程式、ポワソン方程式に関する記述を追記します。

8. いろいろと考えて決めた報告のルールなのだろうが、圧倒的に効率が悪い。演習問題を答えられなかった時に、その生徒を説教と称して晒し者にする愚かな行動をしないほうがいい。前述の通り時間の無駄であり、他の人にとっては非常に迷惑で退屈だけである。演習問題を自分で印刷してこないことを気にしすぎだと思う。友人の善意を軽く踏みにじる酷い考え方にしか思えない。自主性という言葉に囚われている。決してこの授業を受ける為だけにこの大学に通っているわけではない。

回答：なるほど、効率よく講義をしてくれ、という要望ですね。効率を求めるのは簡単ですよ。期限までに報告できなかった学生をバツサリ落としていけば効率は格段にあがります。説教として

晒す愚かな行動, とありますが, 愚かな行動を取っているから説教をするのです。確かにそれで時間を取ったことは大変申し訳ありませんでした。このような意見を述べられるのは大変立派な学生かと思しますので, そういったサボる学生が次回も同じことをしないように友達になってあげて面倒をみてくれると非常に助かります。

演習問題の印刷を友達の善意だと言いますが, それは善意ではありません。その学生をできない学生として軽く舐めているから「まあ仕方ない, ほら, 僕が印刷したこの紙やるよ」みたいになってしまうのです。逆に「いいよ, 俺は, 自分で印刷するから」と断る勇気も大事だと思いますよ。自分で演習問題を印刷することを自主性に囚われている, というのなら, そのとおりだと思います。これからも学生の自主性を信じていきたいと思います。

この授業以外も受けるために大学に通っていると聞いて安心しました。頑張ってください。

9. 前日に学んだことを翌日までに全て理解することは難しいです。前日の内容を翌日に演習問題で確認するというには, 私自身はついていくことができませんでした。ですので, 演習までにせめて一週間程の期間を毎回設けていただきたかったです。

回答: はい, これに関してはそのとおりだと反省しています。せめて6日間はあったほうがよいと思うので, 次年度からは配慮します。貴重な意見ありがとうございます。

10. 授業と演習の難易度に差があり, 演習に取り組む時間が大幅にとられた教科書にある類題を示すことやのプリントを配るなどして改善してほしい

回答: 簡単な演習をやっても仕方ないので, 少し難易度があがっているように見えますが, 実はそれほどでもありません。実際回答を見たり聞いたりすれば, 理解できたのでは, と思います。大幅に時間が取られるとのことですが, まあ, 皆同じなので頑張ってください。類題を示したりプリントを配るなど, というのはヒントの与え過ぎになってしまいますので, 自主的に探してみたりしてください。

11. 特にありません。

回答: もし何かあれば言ってください。

12. 先生, 教授に問題あり

回答: 私のどこが問題だったかを上のように人として最低, 頭が悪い, 自己満足で授業をしている, など具体的に書いてもらえれば助かります。あと, 教授ではありません。准教授です。

Q29. この授業で良かった点について記入してください。(回答 13 件)

好意的な意見は率直に嬉しく思います。ありがとうございます。これからもより良くなるように努力します。

1. ない(同意見) 特になし, 良かったことはありません。

回答: そうですか。特になければ無理に書かなくてもよい項目ですしね。

2. 丁寧な説明でわかりやすかった。(同意見) 先生の説明がわかりやすかった点(同意見) 演習の際ノートを丁寧に見ていた。(同意見) 質問に丁寧に答えてくれた。(同意見) 解説が丁寧であり, 解説があったところは理解が深まった。

回答: ありがとうございます。これからも丁寧, 親切をこころがけていきたいと思います。

3. 演習問題が授業内容の理解を助けていたこと。(同意見) 授業で基礎的な部分を確認し, 理解に努められた(同意見) 演習と講義がうまく噛み合っていたところ。(同意見) とても理解が深まった。

回答: ありがとうございます。聴いているだけではなかなか理解できないのが普通ですよ。演習を通して理解が深められてなによりです。

4. 普段から勉強しなければならぬ科目であることを何度も言っていたことから, 電磁気学の重要性が伝わってきた。

回答：ありがとうございます。主張が伝わって嬉しく思います。電磁気と回路は基本中の基本ですからね。これからも頑張ってください。

6. 学んだことに対する具体的な問題を提示していただいたこと。また、分かりにくい問題内容に関しての説明及び解答を Moodle にアップロードして下さったこと。(同意見) moodle のページが頻繁に更新されていて有難かった。;

回答：ありがとうございます。Moodle を上手く利用して講義・演習の助けになるようにしたいと思います。

## 2. 授業アンケート全体に対するコメント

試験についての質問ですが、あの程度の簡単な問題でしたら最後まで辿りつけなくてはなりません。これについても再三伝えていたと思います。

演習のノートチェックですが、学生の中には写したりしてただ形式的にやっているフリをする者がいます。そのような者をチェックするために口頭試問を行います。

この時間を短縮するために、班を構成し事前にチェックするように指示していましたが、それもやっていない学生がいたので、最終的には私が入念にチェックしなくてはなりません。そうすると時間が掛かってしまいます。

班員で十分時間を使ってチェックした者のみが、演習ノートチェックに時間が費やされることを指摘してもよい学生かと思います。

## 3. その他のコメントや連絡事項

演習という形態を取っていますが、演習の回答をノートに写したりすることはだれでも出来ません。こちらはそのような形式的な作業を求めているのではなくて、本当に理解しているか、正しく記述できるか、それを徹底的にノートで見て口頭試問で確認するよう努めています。

きちんとやっている学生には何の苦もないものと思われそうです。

とりあえず形式だけ整えてやり過ぎそう、と見て取れる学生を抽出して指導しています。

作成(者): 残間忠直

授業科目名 : 回路理論 II および演習  
担当教員 : 橋本 研也  
年次・開講時限: 2年後期金曜 4,5 限  
授業コード : T1R008001  
授業アンケート: 回答者数 44 人 / 受講者数 97 人 (回収率 45%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q1. この講義のシラバスについて、該当するものを全て選択して下さい。(回答 44 件)

全体的に高得点である。回数を重ねた結果、予定通りに講義が実施できるようになってきたことの影響と考えられる。

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか？(回答 41 件)

受講生によって教材の評価が大きく分かれている。これは学生に配布している講義の ppt ファイルをどの様に理解しているかによるものと考えられる。即ち、後述のコメント欄に記載した様に教科書と勘違いしている受講生が少なからずいるためと思える。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか？(回答 42 件)

殆どの学生が予習・復習にほとんど時間をかけていない。これは毎年同様であり、演習用の資料に手を加えるなどにより対処を目指したが、一向に改善されていない。演習用資料以外に独習用の資料を準備するなど検討したい。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

講義の際の ppt ファイルを自由に download 出来るようにしているが、これを教科書と勘違いしている受講生がいるように思える。ppt ファイルは板書と同類で、講義を補助するものであり、独学のための資料ではない。第 1 回目の講義の際に、このことを強調する必要がある。

### 3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 橋本研也

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 授業科目名   | : 応用数学                          |
| 担当教員    | : 伊藤 智義                         |
| 年次・開講時限 | : 2年後期火曜 3限                     |
| 授業コード   | : T1R009001                     |
| 授業アンケート | : 回答者数 42人 / 受講者数 86人 (回収率 49%) |

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 41件)

平均は4.41で、すべての回答者が「5:はい」「4:ややそういえる」「3:どちらともいえない」となっており、「2:あまりそういえない」「1:いいえ」はいなかった。必修の授業であるため、「わかる授業」を心がけている。その点では目標に応じた授業展開ができていると考えている。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 42件)

平均は2.12で、「5:4時間以上」(21.4%)と「2:1~2時間」「1:1時間未満」に二極化した。80%近くが家庭学習に時間を取っていない状況は改善していく必要があると感じている。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

必修の授業は受講者全員が単位取得することが理想である。しかし、全員がわかる授業を心がけることと、どこに基準を置くかは、バランスの難しい問題でもある。基準を下げすぎると、本科目が得意な受講生にとっては物足りない内容になる可能性もある。理解はしやすく、しかも多くの受講生にとって(例えば他の授業に応用できるような)役に立つ授業をめざしたい。

### 3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 伊藤智義

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 授業科目名   | : 電気電子計測                          |
| 担当教員    | : 残間 忠直                           |
| 年次・開講時限 | : 2年後期水曜 2限                       |
| 授業コード   | : T1R012001                       |
| 授業アンケート | : 回答者数 23 人 / 受講者数 52 人 (回収率 44%) |

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。(回答 4 件)

改善すべき点は真摯にそれを受け止め改善していくつもりです。

貴重な意見をもらい参考にしたいと思います。

1. 一番後ろの列の人を指名するとかいう愚かな方法で生徒を前の方に縛り付けないでほしい。

回答: どの辺りが愚かだったかを指摘してもらえると今後の参考になります。

この方法によって座席後ろで内職したりスマホを操作したり睡眠したりすることを防止していると考えます。後ろの方に座るな、とは言ってなかったのですが、後ろに座りたかったのでしょうか。まさかとは思いますが、「後ろだと寝れないし、スマホもいじれない、講義聞くしかないや」とは思っていないですね。

後ろより前のほうが黒板の字がよく見えますよ。何か愚かではない方法で前の方に座ってもらうコツがあったら提案してもらえると嬉しく思います。

1-1. 結局途中から後ろの列以外も指名してるし。

回答: はい指名しました。ただ、後ろの学生以外は指名しません、とは言っていませんよ。

当てられて答えられなかったのがイヤだったのでしょうか。それとも当てられることに何か相当の苦痛のようなものがあるのでしょうか。

それとも「当ててもらうためには後ろに座らないといけない。しかし後ろだと黒板の字が見えない」ということで悩んでいたのでしょうか。そうだとしたら「私に当ててください」って言うてくれれば前の座席でも毎回当てることができたのですが。

講義を黙ってただ聴いてるだけでは面白くありませんよ。それに学生に適宜質問することは、私にとっては進度を把握する上で必要だったので。

2. 後ろの生徒を当てると宣言しておきながら、後半の授業ではランダムに当てていく事が多かったことが少し残念だった。10 時前には教室に着くようにしている行為が少し無駄に感じてしまう。

回答: 1 および 1-1 に同じなのですが、当てられたくないから早く来るのでしょうか。もしそうだとしたら残念です。早く来てよい座席を確保して、講義前まで予習するのもよいのではないのでしょうか。

まさかとは思いますが「もっと寝たかったのに、早く起こしやがって」などということではないですよ。早く起きて規則正しい生活をする、というのもよくないですか。

3. 無理にでも話を作って授業時間を早く終わらせることはしないのに、よく時間を終えることがあった。早く終わるなら次の章に進む、授業前に何をするのか決めておくなどし、時間通りに終わるようにしてほしい。生徒は時間を超えることによりかなりのストレスを感じる。

回答: 説明し過ぎて 12:00 をオーバーすることがあった、ということでしょうか。講義前に何をするかは当然決めているのですが、なかなか時間通りに終わることができずに、かなりのストレスを掛けてしまって大変申し訳ありませんでした。

私の記憶によれば、2 度ほど 12:02 になり、1 度は 12:05 で終了したことがありました。そのうち 1 回は試験範囲についての説明による超過でした。そういう情報は不要でしたか。試験範



困りの情報を必要とせず自力で解決する力は大変立派だと思います。

超過した時間を、別の日に辻合わせをするために、申し訳ないのですが、11:55で終了したことが一度だけあります。5分も早く終わったのでストレスは感じなかったのではないのでしょうか。しかしいくら辻合わせのためとはいえ、5分も早く終わらせてしまい、12:00まで聞きたくった学生がいたのではないかと申し訳ない気持ちでいっぱいになったことを覚えています。12:00ピッタリに終わらせるのはなかなか難しいですね。他の講義は時間どおりに終わってかなりのストレスは感じないで済んでいるのでしょうか。他の先生に12:00ピッタリに終わるコツを教えてもらってかなりのストレスを与えないような方法を模索したいと思います。

Q29. この授業で良かった点について記入してください。(回答 7件)

1. サンプリング定理の説明がわかりやすく偏微分方程式をとっていなくてもフーリエ変換を理解できた

回答：ありがとう。今からでも遅くないので、できれば偏微分方程式も取っておきましょう。信号処理，材料系などで必要です。

2. 様々な計測器について学べた；教科書と説明が良かった。

回答：ありがとう。教科書で不足していると思われる箇所を補足しました。

3. 今まで受けてきた授業の中で、最も満足度の高い授業であった。特に、電気系学生として知っておくべき常識を多く教わり、毎回楽しみであった。そういった電気系の浅く広い知識を学ぶような授業が1年であったらと思うほどであった。その他、この授業では同時期に行うレポートの考察や回路理論、偏微分方程式にも役に立つという意味で非常に役立った。今後も残間先生のもとのこの授業の存続を望む。

回答：ありがとう。講義は他の講義とも密接に関連しているので、それらがどのように絡んでいるかを理解してもらえれば、これからいっそう理解が深まると思います。

4. 授業がわかりやすい

回答：ありがとう。今後も努力します。

5. 実際に起こっている現象を取り扱うことで、我々の目に見える形で抽象的な概念を理解することができた。

回答：ありがとう。電気系では特に目に見えない現象の方がおおいので、それを具体的に説明することで少しでも理解が深まれば嬉しく思います。また、具体化しなくても抽象化して物事を考えられる力を付けていけばもっといろいろなことが見えてくると思います。

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか？(回答 22件)

マイクを使っていたので、聞こえていたと思います。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

本来なら、何も言わなくても座席の前列に座っていてくれると嬉しいんですけど。

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 残間忠直

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 授業科目名   | : 電気電子工学実験 I                      |
| 担当教員    | : 近藤 圭一郎                          |
| 年次・開講時限 | : 2 年後期火曜 4,5 限                   |
| 授業コード   | : T1R013001                       |
| 授業アンケート | : 回答者数 40 人 / 受講者数 83 人 (回収率 48%) |

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q7. 教室の環境は満足できるものですか? (回答 20 件)

次年度からは新棟での実験となり、特に意見の多かった温熱環境については改善されるものと考えます。

Q29. この授業で良かった点について記入してください。 (回答 10 件)

実験指導の丁寧さ、分かりやすさについて評価してもらっていることは、実際に指導を担当する教員や技術職員等にとっては大変励みになると思われる。今後もこのような評価が増えるように実験取り纏め担当者としても努力したい。

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。 (回答 11 件)

Q29 の一方で指導等に関する不満や、実験装置に対する不満があったのは残念である。前者については必要に応じて指導方法の改善を図りたいが、一方で学生自身の努力で改善する内容も見受けられたのは残念である。実験装置が古いことに対する不満については、昨日の不備については極力改善を図りたいと考える。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

実験の場合は極めて能動的な学習態度が要求される。本来は実験指導書はなく、自ら実験目的に照らして実験方法、測定項目、測定器の決定等を行い、評価方法についても自ら提示するのが理想である。しかしそれでは学生の負担が大きくなりすぎることから、実験指導書を示していることを理解してほしい。もちろん、不適切な指示・指導は論外であるが、学生諸君には不足する内容は自ら補う姿勢がほしい。大学はあくまで自発的に学びたい意志を持った学生が集まるところであり、実験はその機会を提供する場であると理解してほしい。

### 3. その他のコメントや連絡事項

実験の場合は多くの指導者が学生の指導にあたることから、その内容に均質化が重要な課題と考える。この数年をかけて電気電子工学実験について実務面を含め大きな改善が図られる予定である。

作成(者): 近藤圭一郎

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 授業科目名   | : 偏微分方程式演習                        |
| 担当教員    | : 名取 賢二                           |
| 年次・開講時限 | : 2年後期金曜 3 限                      |
| 授業コード   | : T1R021001                       |
| 授業アンケート | : 回答者数 21 人 / 受講者数 38 人 (回収率 55%) |

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 20 件)

本年度よりこの講義を担当し, 昨年までの授業スライドを配布する形式からすべて板書をする形式に変更したため, 本アンケート項目についてどのような回答があるか不安であったが, 9 割の回答者が見やすかったと答えていることから, 特に問題がなかったとわかり安心している。また, 毎回の講義の流れを意識して板書の配置を工夫したことも良い結果につながったと考えられるので, 今後もさらに工夫していくつもりである。

Q9. 例題, 例え話やサンプル等がわかりやすかったですか? (回答 21 件)

講義を行う際, 最も重視しているのが例を挙げてわかりやすく説明するということであるので, 本回答において「はい」もしくは「ややそういえる」という回答が約 9 割あったことは大変うれしく思っている。また, Q29. の回答において「とてもわかりやすかった」「非常に丁寧に解説していた」などがあつたことも, 同様にとてもうれしく思っている。今後は扱っている項目の応用例などの話も含めながら, わかりやすい講義となるよう工夫を重ねるつもりである。

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。 (回答 4 件)

記述形式の回答を求めるアンケート項目のため回答数は少ないが, 「演習の答えをなるべく早めに出して欲しかった」「特に後半の演習問題は難解なものが多かったので, もう少しヒントが欲しかった」などの回答があつた。前者の回答に関しては, まさに指摘の通りであり, 演習解答の公開をなるべく早くし, 自学自習をなるべく早く始められるようにするべきであつた。また, 後者の回答についても, 特に後半の演習問題では前半で学習した項目などの説明を簡略化した部分が多かつたので, 来年度以降工夫が必要であると考えられる。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

本講義は演習科目であるため, 問題を「解く」ことを重視して授業の構成や板書の配置などを考えた。結果として, 「わかりやすかった」などの回答があつたことから一定の成果は挙げられたのではないかと考えているが, 特に後半については板書の量も多くなってしまい, 説明を聞くというよりもノートを取ることで精一杯というような光景も見受けられた。また, 説明を行う上で例などをうまく利用してなるべくわかりやすくすることを目指したが, 例の話が冗長となり時間が足りなくなるという場合もあつた。これらのことから, 講義時間において優先度を明確にして板書の量, 説明の長さなどを適切にする工夫がさらに必要であると考えられる。

### 3. その他のコメントや連絡事項

講義における板書と説明は, 両者がセットになるからこそ効果を発揮するものであるため, ただノートを取るだけでなく, 説明をきちんと聞いてその場で理解するということを重視してほしいと考えている。特に, とりあえずノートをとっておいて後できちんと理解すればよいということを考えてしまうことが多いが, なぜそのような式展開になるのかというようなことをすべて説明しながら板書しているため, その説明を聞き逃さないよう集中してほしいと考えている。

講義をする側としても, 上述のように板書の量が多くなってしまったという反省点を踏まえて,

講義中の説明をより集中して聞いてもらえるような工夫をしていきたいと思っている。

作成(者): 名取賢二

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 授業科目名   | : 電気電子工学実験 III                    |
| 担当教員    | : 安 昌俊                            |
| 年次・開講時限 | : 3 年後期木曜 3,4,5 限                 |
| 授業コード   | : T1R024001                       |
| 授業アンケート | : 回答者数 32 人 / 受講者数 76 人 (回収率 42%) |

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 29 件)

平均: 3.90

概ね高い評価といえる。

Q16. 全体を通して、この授業に満足しましたか? (回答 30 件)

平均: 3.93

概ね高い評価といえる。

Q18. あなたはこの演習・実験・実習科目を受講することによって、対応する講義の理解が深まりましたか? (回答 29 件)

平均: 4.41

高い評価といえる。さらに内容を充実させるために実験と対応する講義との見直しも教育委員会で進めているところである。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

(1) 半導体関係の授業を取っていない学生の配慮が無い。

==> 担当の教員に実験に必要な知識を実験前に簡単に説明するようにします。

(2) 教員が不在による機器の不備で実験が止まったこと。事前確認をすること。

==> おそらく何らかの理由により席を一時的に外すことがあったのかもしれませんが。確認します。また、実験前に機器などの事前確認を強化します。

### 3. その他のコメントや連絡事項

自らの手で理論を結果から確かめられる。

面白く、電気製品の特性を理解するのに大いに役に立つ。

実験を通じて講義の理解が深まったという結果が出ています。

作成(者): 安 昌俊

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 授業科目名   | : 伝送工学                            |
| 担当教員    | : 八代 健一郎                          |
| 年次・開講時限 | : 3 年後期月曜 4 限                     |
| 授業コード   | : T1R034001                       |
| 授業アンケート | : 回答者数 16 人 / 受講者数 30 人 (回収率 53%) |

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか? (回答 16 件)

この質問に対して、回答が良く聞こえたとする者から良く聞こえないとする者まで回答にばらつきが見られます。私が話す位置と着席している位置との関係かもしれませんが、意識して大きな声でゆっくりと話すように心がけたいと思います。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

出席を取る代わりに、毎回 10 分程度で解答できる問いを 2 問答えてもらいました。内容は前回の授業内容から選んであるので、多少なりとも内容の理解度の確認ができたのではないかと考えています。

配布資料の注へのリンクが壊れてしまっていたので、来年度は修正して配布したいと思います。

3. その他のコメントや連絡事項

授業開始時に出欠を取る代わりに復習に相当する簡単な問いは次年度も実施する予定です。成績に反映しませんが、理解度を確認する意味で遅刻せずに受けてください。

作成(者): 八代健一郎

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 授業科目名   | : 半導体デバイス                         |
| 担当教員    | : 石谷 善博                           |
| 年次・開講時限 | : 3年後期水曜 2 限                      |
| 授業コード   | : T1R037001                       |
| 授業アンケート | : 回答者数 14 人 / 受講者数 24 人 (回収率 58%) |

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 13 件)

理解できたかについて、「ややそう言える」から「ややそう言えない」まで均等に広がっていた。本講義は、電気電子工学科およびナノサイエンス学科の講義となっており、両学科で基礎学習内容に差があるようである。これについて、次年度は補っていきたい。また、3年前まで他の講義で行っていたキーワード説明のレポートを実施して基礎内容の確実な理解を促したい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

界面など他の講義にない内容が良かったとの意見があり、こういった点は拡充してゆきたい。

講義ノートについて、改訂中であり、誤植の減少努めたいが、誤植を見つけた時は学生からも指摘してほしい。

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 石谷善博

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 授業科目名   | : 信号処理                            |
| 担当教員    | : 安 昌俊                            |
| 年次・開講時限 | : 3 年後期水曜 3 限                     |
| 授業コード   | : T1R041001                       |
| 授業アンケート | : 回答者数 27 人 / 受講者数 62 人 (回収率 44%) |

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか? (回答 27 件)

教材は教科書を選定せず、power pointer 資料を moodle に公開している。講義を進むに伴い学生のレベルを見ながら修正を行うため、概ね高い評価といえる。

Q5. 板書, OHP, スライドなどは、見やすかったですか? (回答 27 件)

講義資料であるスライド資料は moodle で公開しているため、資料と OHP の評価は、概ね高い評価といえる。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 27 件)

学生の準備学習と復習時間が 1 時間未満が半数を来れるため、準備学習ができる宿題などを検討している。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

(1) 毎回の授業のテーマがはっきりしているので分かり易い。

(2) 例題や例えが原理を理解しやすくした。

全般的に授業内容に満足している。原理のみを説明せず、様々な例題を示し、学生の理解度を向上する更なる取り組みを行う予定である。

### 3. その他のコメントや連絡事項

ガイダンスの際、学生に講義の内容と今後の授業に関して、細かく説明することで無理に受講せず、自分が納得して受講したため、全般的に成績もよく、授業の理解度も高くありました。今後、更に学生に対して講義の内容などを細かく説明することで、自分が納得して受講できるようにする予定です。

作成(者): 安 昌俊



|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 授業科目名   | : 電気法規及び電気施設管理                  |
| 担当教員    | : 岡部 康恒                         |
| 年次・開講時限 | : 4 年後期月曜 4 限                   |
| 授業コード   | : T1R054001                     |
| 授業アンケート | : 回答者数 4 人 / 受講者数 5 人 (回収率 80%) |

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q10. 授業では宿題、レポート等が理解を助けるのに役立ちましたか? (回答 4 件)

講義のみで、特に宿題、レポート等は実施しませんでした。講義を聴くだけでは理解が難しい点もあるので今後はレポートなども実施したいと考えています。

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか? (回答 4 件)

時間不足でやや駆け足になってしまった点があります。また、電気事業法以外の法律が若干手薄になってしまった点もあり、時間配分を再検討したいと思います。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 4 件)

質問が少なかったのは残念です。質問しやすい講義を心がけたいと思います。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

万全とは行きませんが、ほぼ満足のいく講義だったようで、一安心しています。学生生活の貴重な時間ですので、有意義な講義にしてゆきたいと考えております。

### 3. その他のコメントや連絡事項

受講者が少ないのが残念です。

電気主任技術者の免状を試験以外の方法で取得するためには、この科目の単位の取得が必要です。卒業後、強電関係の仕事に従事する場合は、電気主任技術者免状が必要となる場合が多いので、単位を取得しておくことをおすすめします。

また、講義では法律の基礎知識、電気事業を巡る情勢、さらにエネルギー政策などについても取り上げていますので、電気主任技術者免状の取得を考えていない人にも役立つと思います。

積極的に受講してください。

作成(者): 岡部康恒

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 授業科目名   | : 電波法規                          |
| 担当教員    | : 岡崎 邦春                         |
| 年次・開講時限 | : 4 年後期火曜 5 限                   |
| 授業コード   | : T1R055001                     |
| 授業アンケート | : 回答者数 6 人 / 受講者数 8 人 (回収率 75%) |

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q10. 授業では宿題、レポート等が理解を助けるのに役立ちましたか? (回答 6 件)

3 回目くらいに、本講義を選択した動機や特に知りたいことを求めるレポート提出が設定できなかった。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 6 件)

質問を受ける配慮が少なかった。

Q18. あなたはこの演習・実験・実習科目を受講することによって、対応する講義の理解が深まりましたか? (回答 1 件)

月に 1 回くらいは、簡単な演習問題を提起すべきでした。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

4 人は、よく受講してくれた。まず「法規」を読めるようになることに主眼を置いた。

対話を取り入れ、理解と関心レベルをもっと把握したい。

3. その他のコメントや連絡事項

テレビ、インターネット、スマホ、GPS ナビ、電子タグなど電波利用が、空気のように当たり前になってしまっている社会を生きる皆さんへ、電波の力と不思議さ、電波利用に関心を持ち、その工学理論とともに法規ルールもあることを知らせたい。

次年度に向けては、後期なので、夏までに講座の PR を願いたい。

作成(者): 岡崎 邦春

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 授業科目名   | : プログラミングおよび実習                    |
| 担当教員    | : 下馬場 朋禄, 角江 崇                    |
| 年次・開講時限 | : 1 年後期月曜 4,5 限                   |
| 授業コード   | : T1R061001                       |
| 授業アンケート | : 回答者数 46 人 / 受講者数 72 人 (回収率 64%) |

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q1. この講義のシラバスについて、該当するものを全て選択して下さい。(回答 45 件)

半分以上の方はシラバスの内容を理解していただいたようですが、わかりにくい方もいたようなので、少し工夫をしてみようと思います。

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか? (回答 45 件)

8 割以上の方に講義資料は役に立ったようです。今後も改善していきます。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

スライドに関しては好評だったようで、引き続きわかりやすスライドへ改訂を行っていきます。進度が早いという意見もあり、今年は教科書の全 13 章をすべて行いましたが、省いて良い所もあったかもしれません。見なおしてみたいと思います。

また、端末を利用した講義+演習科目ということも有り、講義+演習中に講義とは関係のないサイトやスマートフォンなどをいじっている学生が散見されました。来年度は厳しく対処しようと考えています。

### 3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 下馬場